

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

読解と自由英作文。和訳はなく説明問題のみ。

その他トピックス:

出題の形式は例年のパターンを踏襲。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	読解	インターネットは人を賢くするのか	適語選択・空所補充・説明(40字・30字)	普	語数やや増加。説明問題は字数制限が厳しく、字数オーバーに注意。「要するに・・・」の視点で要点を簡潔に述べる必要がある。
2	読解	言語が現実世界を言語化する共通点	語句整序・適語選択・空所補充・内容説明(30字)	やや難	語数増加。語句整序は全体の内容も踏まえる必要もあり難しい。文章のテーマも受験生にはあまり馴染みがなくイメージしづらく解答には苦労するだろう。
3	読解・自由英作文	音読から黙読へ	英問英答(4択)・自由英作文	普	語数はやや減少。英問英答は段落ごとに解答できる。自由英作文は、日本の若者はもっと読書すべき、という意見の賛成・反対を問うもの。よくあるテーマで解答しやすいが、二つの具体的理由を挙げることに注意したい。
4	読解	日本の伝統芸術における侘び寂び等	適語(句)選択	やや易	昨年あった説明問題はなくなり、選択問題のみになったので、解答しやすかっただろう。

〈学習対策〉

近年の大学入試の方向にならない語数は増加傾向。出典は新しものも多く、受験生には初見の英文。最大の特徴は説明問題。他大学に比べ、文字制限が厳しいので、要点を簡潔に述べる必要がある。英文を読む際は、ミクロな視点の精読だけではなく、マクロな視点から、「何を」「どのような論理で」述べているか、論理のアウトラインを意識しながら、読む習慣をつけよう。自由英作文は、標準的な出題なので、しっかりと練習をしておけば悩むことはないだろう。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

今年は無かったが整数問題が出題される。ベクトルが多く、数列は少ない。

その他トピックス:

「これはできる！」と言えるサービス問題がなく、厳しいセットだった。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	数Ⅱ	微分と図形	放物線の接線と法線	やや難	(1)はマメに計算すれば何とかなるが、(2)で相加平均・相乗平均の利用に思い至らないと難しい。
2	数Ⅱ	対数	対数と等式の証明	やや難	対数の応用ではあるが、対数のとり方が明示されていないので、なにをやったら良いのかとまどう可能性大。
3	数B	ベクトル	ベクトルと円・直線	普	内積がらみの普通の設定。座標平面に落とし込む方が計算は簡略に済ませることができる。
4	数A	場合の数	重複組み合わせ	やや難	いわゆる「○ 」=「重複組み合わせ」の応用問題。全くの数列問題として解くことも可能。

〈学習対策〉

数Ⅰ、数Ⅱの全体と、確率、整数、ベクトルの標準問題をしっかりこなしておくこと。もちろん、数列も無視はできませんが。